

R5_秋号のトピックス

今年の夏は、35 度以上の日が続くなど、非常に厳しい暑さとなっています。環境部は現地調査が多いことから、熱中症対策には非常に力を入れており、安全第一で業務に取り組んでいます。

さて、西技環境ニュース R5_秋号では、下記トピックスをご紹介します。

- ✓ 西技環境ニュース、10 周年を迎えました！
- ✓ 環境部の主な業務内容（R5 年度）
- ✓ 未来の環境部に向けた部員の想い

水族館「うみたまご」の写真で涼をどうぞ！



西技環境ニュース、10 周年を迎えました！

現在、社内を始め、様々なお客様にご愛読頂いている西技環境ニュース。なんと、**今号で 10 周年**を迎えることが出来ました！これも、ひとえにご愛読頂いている皆様のおかげと感謝しております。本当に有難うございます。

今号は、10 周年特別企画として、創刊に至った経緯やこれまでの歴史などについて、皆様と一緒に振り返ってみたいと思います。

【創刊に至った経緯】

西技環境部は、調査・予測・評価、保全対策、自然再生、普及啓発・地域連携、脱炭素社会への取り組みなど、環境に関する様々なコンサルティングを行っています。

様々な分野の専門家が強い技術力をもって丁寧な仕事を行っており、当時はそれらの取組を HP やパンフレットを通じてご紹介してきましたが、知る人ぞ知る存在であることが課題でした。

くしくも、2010 年に「生物多様性を保全するための戦略 2011-2020」が採択され、「生物多様性」という言葉が広く知られ始めるなど環境保全への気運が高まってきたことを踏まえ、当時の環境部長が

西技環境部が取り組む仕事の内容や、私たちを取り巻く環境について簡単にわかりやすくお伝えし、環境への理解を深める手助けになるような広報誌を作成するように

との指示を出し、試行錯誤の末、2013 年 8 月に西技環境ニュースが産声をあげました。

【これまでの歴史を振り返る】

西技環境ニュースは、R5_夏号までで計 40 号が発行され、掲載した記事は、実に 89 に上ります。

左図は、89 の記事を項目ごとに分類したもので、項目ごとの記事数は以下のとおりとなりました。

記事数	内容
25	動物
13	植物
各 6	水質、制度等、その他
各 5	騒音、環境全般
各 4	海域、調査・分析、学会等
3	外来種
各 2	海外、人触れ
各 1	大気質、土壌、景観、普及啓発

記事の内容は多岐に渡っており、何度見返しても面白いものとなっています。

現在、当社 HP にて閲覧できるよう手配中ですが、掲載時期は未定です。遡って読みたい方は、是非環境部員までお知らせください。

動物 環境について の物語 【ウナギ】	環境トピ ックス【ス メバチ】	タカの美 あれこれ	環境につ いての 【水に …!!!】	水質 ダム湖のア オコ対策に ついて	意外に知 らない水 の性質	貯水池の水 温成層につ いて	制度等 環境影響 評価制度 のお話	風力発電所 の環境影響 評価法 規模の見 直しにつ いて	地熱開発の 優良事例 とソー シング マップ
クマタカ の重宝が 下がる??	新種の見 つけ方【 昆虫編】	チョウから 身近な環 境を評価 する	アユから 川の環 境と文 化を考 える	あわ・ア ワ・フ 泡・・・	地下水のイ オン分析	水におい い話	再生可能 エネルギー の導入に 関する 環境影 響...	洋上風力 発電の 導入に 関する 環境影 響...	無人航空 機の運 用と環 境への 影響
秋・冬 から始 めるハ ドワッ チング	渡り鳥に ついて	知られざ る？ナ ナホ シテント ウの世 界	スーパー のエビ から水 環境を 考 える	その他 書籍紹介	部員が有 する主 な資格	環境部員 が持つ 資格、 一部紹 介！	騒音・振 動 環境につ いての 物語【音 の物語】	風車騒音 の調査 手法に ついて	風車騒音 の調査 手法に ついて
ヤマメとい う魚	（閲覧注 意！）昆 虫食 始め ます	リュウキュ ウアユに ついて	猛禽類調 査あれ これ	西日本技 術開発 （株） 環境部 の概要	創立50 周年を 迎えます ！	西技環境 ニュース の創刊に あ たって	環境につ いての 物語【音 の物語】	風車騒音 の調査 手法に ついて	風車騒音 の調査 手法に ついて
野鳥歳時 記・モズ編	夏の夜空 のアカ ロハッ ト観者 アブラ コモリ	アサリが 食卓から 消え る！?	魚道（ぎ ょう） とは？	環境全般 「里地・ 里山」に ついての お話	生きもの を守る意 義につ いて考 える	調査・分 析 環境調査 トピッ クス（環 境DNA）	学会等 若手技術 者交流 会に参 加した	応用生 態工学 学会第 11回全 国シン ポジ...	応用生 態工学 学会第 11回全 国シン ポジ...
特殊な環 境に生 息する ハゼたち	ヤマメとい う魚 Part.2	里山の生 物多様 性を保 つサシ バ	（閲覧注 意！） 昆虫食 その後 について	グリーン インフ ラにつ いて	家庭で できる 地球温 暖化に 対する 取り組み	外来種 環境につ いての 物語【音 の物語】	DNA 分 析による ハゼの 分類判 別サー ビス始 まる...	応用生 態工学 学会第 11回全 国シン ポジ...	応用生 態工学 学会第 11回全 国シン ポジ...
植物 環境につ いての 物語【 智生ラ ン】	謎多きコ ケ植物	希少植物 の保全 と生態 的復元	気候変動 と森林 の歴史 的関係	温暖化と 生物	温暖化と 生物	海外 「セバ ンロシ 」の環 境	海外 「セバ ンロシ 」の環 境	海外 「セバ ンロシ 」の環 境	海外 「セバ ンロシ 」の環 境
環境につ いての 物語【 腐生植 物】	環境につ いての 物語【 白いタ ンポポ	秋の七 草	九州に おける 森林の 荒廃に ついて	フルー カーボ ンにつ いて	陸だけ でなく 、海も 出るの です	人触れ 「人触 れ」は ？第2 弾	人触れ 「人触 れ」は ？第2 弾	人触れ 「人触 れ」は ？第2 弾	人触れ 「人触 れ」は ？第2 弾
植物の名 前の由 来	マツ枯 れが起 きるに ついて	春植物	実はカ ビ（菌 類）の 仲間キ コにつ いて	宮崎海 岸食 工場の バック 工法	知って いる けど知 らない 砂浜海 岸	「人触 れ」は ？第2 弾	「人触 れ」は ？第2 弾	「人触 れ」は ？第2 弾	「人触 れ」は ？第2 弾

人気投票結果

- 🏆（閲覧注意！）昆虫食 始めます：R2_春号
- 🏆（閲覧注意！）昆虫食 その後について：R5_夏号
- 🏆ダム湖のアオコ対策について：H26_夏号
- 水のおい話：R3_夏号
- 悩ましい音（環境騒音調査時の招かざる客）：R4_春号

【人気投票してみました】

部員ですら何度見返しても面白い西技環境ニュース。今回、環境面における知識・経験が豊富な環境部員を対象に人気投票を行ったところ、なんと昆虫食ネタが 1、2 フィニッシュを飾る結果となりました。皆さん虫に飢えていますね・・・。

特集記事、裏面に続く！

環境部の主な業務内容(R5 年度)

R5.8 時点での主な業務内容は、以下のとおりとなっています。

官公庁事業関連(国内)		官公庁事業関連(国外)	
国交省	山国川流域環境特性検討業務 緑川ダム水辺現地調査(魚類等)業務 大淀川・小丸川河川水辺環境調査(底生・基図)業務 遠賀川水系自然再生事業モニタリング調査業務 矢部川水系水辺現地調査(両爬喃)業務 遠賀川水系水辺現地調査(魚類)業務 唐津港(東港地区)環境調査 宮崎海岸モニタリング環境調査・分析検討業務 五ヶ瀬川河川水辺の国勢調査(両生類等)業務	JICA	エチオピア国アルトランガノ地熱発電事業準備調査 ケニア国地熱発電事業における蒸気供給管理能力向上プロジェクト キューバ国再生可能エネルギーの開発に向けた電力セクターマスタープラン策定プロジェクト インドネシア国地熱開発における中長期的な促進制度設計支援プロジェクトフェーズ2 インドネシア国国有地熱発電事業者の新規開発地点に関する情報収集・確認調査
福岡県	国道322号香春大任バイパス水文調査業務 西川観音井堰詳細設計業務	PT.PLN	インドネシア国ウルンブ・マタロコ地熱発電プロジェクト業務
豊前市	地球温暖化対策実行計画(区域施策編)策定業務	民間事業関連	
香春町	再エネ目標・地球温暖化対策実行計画(区域施策編)策定支援業務	環境調査 予測評価 対策検討	ダム水質や通砂事業に伴う環境調査・解析、魚類遡上調査、地下水分析検討、発電所工事に伴う騒音予測 など
長崎県	一般国道251号道路改良工事(水文調査業務委託その7) 浦上ダム(貯水池掘削および仮設備実施設計業務委託)	環境 影響 評価	法 条 例 自 主
熊本県	有明海特産魚介類生息環境調査(浮遊幼生等調査)		
菊陽町	(仮称)原水駅周辺土地区画整理事業 環境影響評価方法書作成業務		
鹿児島県 知名町	再エネ導入促進エリア検討・合意形成支援業務		送電線工事に伴う希少植物調査、地熱開発に係る動植物調査、水力開発に係る猛禽類調査 など

国土交通行政功労表彰を受けました！

➤【山国川河川事務所長表彰】令和4年度山国川管内水辺現地調査(魚類)外業務 優良業務/優秀技術者 堀田剛広

未来の環境部に向けた部員の想い

【アンケートを取りました】

アンケートは、本社に在籍している部員を対象に「今後を担う世代である20～40代」と「後世に知恵・知識を残す立場である50代以上」に分け、右のお題にて自由回答で行いました。

アンケートのお題

- ▼20～40代
環境部の今後の発展に向けた皆さんの意気込み
- ▼50代以上
未来の環境部にあなたが残したいもの

【アンケート結果】

各自の想い、考えが詰まった回答を、Microsoft Formsのインサイト機能にてまとめた結果は左のとおりです。

アンケートの結果、「環境」という言葉を盛り込んだ部員が、実に1/3を占める結果となりました。また、「九州」「地球」「競合」など、業務受注に向けたキーワードのほか、「組織」「仕事」など、仕事の在り方に関するものも多くみられました。



インサイト機能にて抽出されたキーワード

【熱い想いをご紹介！】

せっかくですので、部員の熱い想いを一部ご紹介いたします！

会社組織の中における
自然環境というワード

失敗から得た知識

仕事を通じて
自己研鑽できる職場環境

【企業理念】
人と環境の調和を図り、
豊かな社会づくりに
貢献します

※ 50代以上 20～40代

九州のトップを走り続ける
100年企業となるよう
頑張ります！

高い技術力を持ち
社会に貢献する

九州の環境に西技あり！

多様な人材で
九州の環境と
向き合い続ける！

地球のすべてが
私たちのフィールドです

特集号、いかがだったでしょうか。今号は、創刊以降、ニュース全般の編集・記事作成など、一貫して西技環境ニュースに携わってきた佐藤が担当しました。

次号からは通常記事に戻ります。引き続き、ご愛読宜しくお願い致します。また、環境関連のご相談は、是非当社環境部まで！

西技環境ニュース R5 秋号 令和5年8月31日発行 発行・編集：西日本技術開発(株)環境部 企画調整 G

お問い合わせ先(TEL)：092-781-2625

※本紙は再生紙を利用しています。また、無断複写・転載はご遠慮ください。